



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究－2007 年度(平成 19 年度)版－

V. 特別研究員奨励費編

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of Grants-in-Aid for
Scientific Research — 2007 Fiscal Year —

V. Grant-in-Aid for JSPS Fellows

野村浩康、光田好孝、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Hiroyasu NOMURA, Yoshitaka MITSUDA, Masafumi MAEDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2009-012J

Apr. 2009

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2007 年度(平成 19 年度)版－
V. 特別研究員奨励費編

野村浩康**, 光田好孝*, 前田正史*, 前橋 至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－ 2007 Fiscal Year －
V. Grant-in-Aid for JSPS Fellows

Hiroyasu NOMURA**, Yoshitaka MITSUDA*,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the fifth and last report for 2007 fiscal year's version, on the encouragement fund for JSPS (Japan Society for the Promotion of Science) fellows. The total number of adopted subjects corresponds to the number of young researcher candidates at each university and also to a degree of the role of each university educating young researchers. The total number of adoption subjects of research projects at 2007 has been summed up for each university and institute on individual research field and compared to those of 2006 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2007 年度（平成 19 年度）の包括的な状況	3
4. 調査研究の具体的な分析方針	10

II. 個別課題研究費編：特別研究員奨励費

1. 概要	11
2. 系別	17
2－1 人文社会系	17
2－2 理工系	21
2－3 生物系	26
2－4 総合・新領域系	31

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、わが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関などに所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度であり、この制度がわが国の大学の基礎研究を支えてきたといっても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、最近ではその伸び率が小さくなってきたものの、図1-1に示すように毎年予算増が図られ、2008年度（平成20年度）には1,932億円に達し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に調査・分析することは重要である。

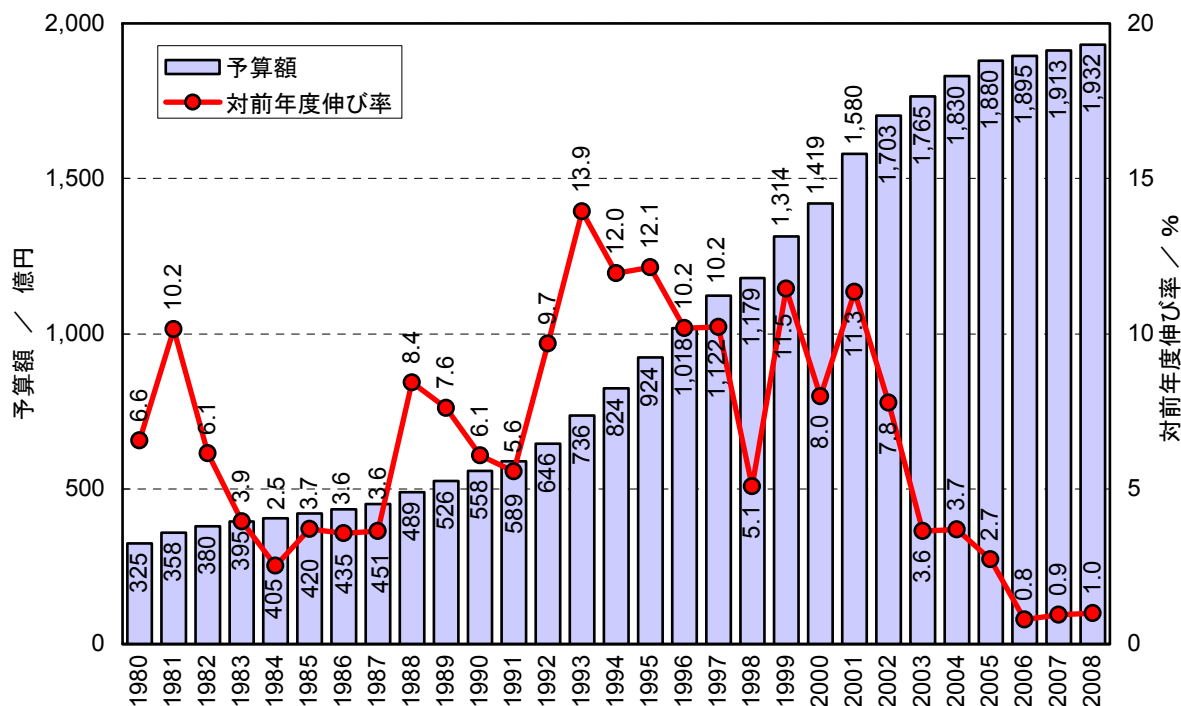


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

近年、いろいろな機関が大学などの評価、順位づけを行っているが、評価における観点として、個人および機関評価の資料として用いるデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味からも科学研究費補助金の採択研究課題名および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所のwebサイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもがみることができると、最も公開が進んでいる資料で

ある。

科学研究費補助金のように、公開データから採択研究課題数を大学別に整理することにより順位づけを行う場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS（Research Active Staff）の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、わが国の研究者への研究費の配分について、機関配分よりも競争的な個人配分の割合が大きくなる傾向が強くなるのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」（以下「細目表」という）である。この「細目表」は基盤研究などの研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部・学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部・学科などの大学の組織の人数などを短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく、実施しようとする研究計画の内容を考え、適切な「細目」を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。このような考えを受けて、2003 年度に大幅な「細目表」の改訂が行われている。一方、「細目表」の改訂が一段落した 2006 年度から、若手研究（スタートアップ）が始まり、特別研究促進費が従来の大型研究から大きくその性格を変えている。このほか、2007 年度からは若手研究（S）が始まり、さらに 2008 年度からは大型研究が従来とは大きく変化し「新学術領域研究」という新しい研究種目が導入されるように、少しずつ制度の内容が変わってきている。

2003 年度（平成 15 年度）の科学研究費補助金の「細目表」の大改訂を考慮し、1998 年度（平成 10 年度）から 2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、わが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング ― 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 ―」として出版した。以来、2003 年度から毎年、科学研究費補助金の全ての分野にわたり調査・分析した結果をその都度、web 上または出版物として報告してきた。この間、2004 年度（平成 16 年度）には国立大学の法人化など大学をめぐる研究・教育環境は大きく変化してきた。

本調査報告は、同様の調査研究の 2007 年度（平成 19 年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2006 年度版までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2006 年度版と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（奨励研究、特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。2006 年度から特別研究促進費の性格が変わり、2007 年度にも若干の変更があったが、これまでの調査研究との整合性から、特別研究促進費は大型研究費の中で議論する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名などについては、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要などについては、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数などを機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、基本的に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いており、「KAKEN」データでは直接経費のみであるため、各採択研究課題の配分額は直接経費のみの額である。また、予算額などの「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いており、予算額は基本的には間接経費を含んだ額となっている。

なお、「KAKEN」には基本的に年度当初の採択研究課題に加え、年度途中の追加採択研究課題も含まれているが、本調査研究用にデータを取得した段階では、2007年度基盤研究（C）については追加採択研究課題が反映されていなかった。一方、2007年度に関しては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に「補遺版」が発行され、通常とは異なる時期に採択が行われた若手研究（S）の採択研究課題や追加採択の状況が掲載されている。

3. 2007年度（平成19年度）の包括的な状況

2007年度の総予算額は、図1-1に示したように、前年度より18億円増、0.9%増えて1,913億円である。伸び率はきわめて小さいが、緊縮財政状況の中でプラスの伸び率であることをよしとする状況である。2005年度から2007年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。1999年度から科学研究費補助金の取り扱いが基本的に機関経理に変更され、2001年度から科学研究費補助金に間接経費が付けられるようになった。当初は特別推進研究、基盤研究（S）など配分額が大きい研究種目に限られていたが、順次拡大され、2007年度からは基盤研究（B）、（C）にも間接経費が配分されるようになった。したがって表1-1では2005年度から2007年度の予算額を間接経費の配分状況がわかるように、間接経費を内数とした総予算額と間接経費を並列に示した。前述のように、2007年度は前年度に比べ予算額は18億円増加しているが、機関補助である間接経費を引いた実質研究費（直接経費）の予算額は、前年度に比べ約134億円、7.7%減となっている。

これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費他として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。図1-2では直接経費の予算状況をみるために、予算額から間接経費を除いた金額で提示した。

2005年度、2006年度に比べて、2007年度は項目別予算額（直接経費）の内訳が大きく変化してい

る。前年度と比較すると個別課題研究費の割合が 59.1%から 66.1%に拡大し、大型研究費の割合が 34.1%から 28.1%に縮小しているのが特徴である。特別研究員奨励費、研究成果公開促進費などの割合はほとんど変化していない。先にも述べたように、2007 年度は間接経費の措置される研究種目が増えたために実質研究費（直接経費）の予算額が減ったが、直接経費の予算額を前年度と比較すると、個別課題研究費は 32 億円強、対前年度比 3.1%増加し、その代わり大型研究費が 140 億円強、24.0%減少している。

表 1－1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目		2005年度		2006年度		2007年度	
		予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	13,600	3,138	13,700	3,161	8,255	1,905
	(2) 特定領域研究	40,291	—	40,291	—	31,480	—
	(3) 基盤研究(S)	10,600	2,446	10,600	2,446	10,600	2,446
	(4) 基盤研究(A)	20,640	4,760	20,640	4,760	21,970	5,070
	(5) 基盤研究(B)	34,110	—	34,110	—	44,343	10,233
	(6) 基盤研究(C)	19,870	—	19,870	—	26,026	6,006
	(7) 萌芽研究	5,250	—	5,250	—	5,508	—
	(8) 若手研究(S)	—	—	—	—	1,300	300
	(9) 若手研究(A)	5,900	1,361	6,150	1,419	6,150	1,419
	(10) 若手研究(B)	14,600	—	14,600	—	14,600	—
	(11) 若手研究 (スタートアップ)	—	—	1,000	—	1,800	—
	(12) 奨励研究	600	—	600	—	500	—
	(13) 特別研究促進費	250	—	400	—	250	—
	小 計	165,711	11,705	167,211	11,786	172,782	27,379
2 研究成果 公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	—	884	—	583	—
	(2) 学術図書	685	—	685	—	412	—
	(3) デー タベー ス	1,416	—	1,416	—	645	—
	(4) 研究成果公開発表	397	—	397	—	160	—
	小 計	3,382	—	3,382	—	1,800	—
3 特定奨励費		770	—	770	—	700	—
4 特別研究員奨励費		6,170	—	6,070	—	5,353	—
5 学術創成研究費		11,050	2,550	11,050	2,550	9,515	2,196
6 審査・評価・分析経費		917	—	1,017	—	1,150	—
合 計		188,000	14,255	189,500	14,336	191,300	29,575

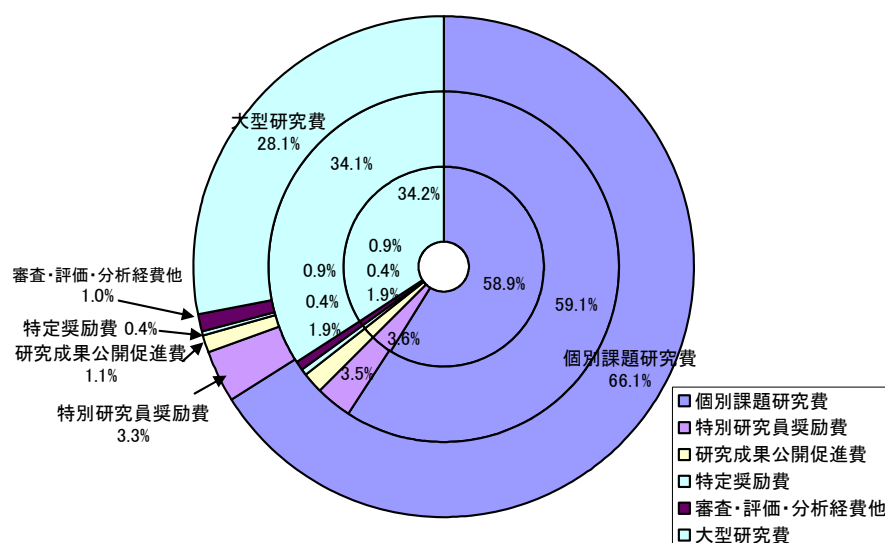


図 1－2 2005 年度(内周)、2006 年度(中間周)、2007 年度(外周)の
科学研究費補助金（直接経費）の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2007 年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみよう。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表 1－2 に示す。特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費の配分額の総額は前年度より 1.3%増加し、採択研究課題数も 1,858 件、対前年度比にして 4.3%増えている。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の 2007 年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図 1－3 に示す。前年度と比較して、個別課題研究費の総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数も伸びているが、個別課題研究費の総採択研究課題数に占める各「系」の割合は、総合・新領域系が 17.6%、人文社会系は 19.0%と前年度に比べてそれぞれ 0.2%、1.0%大きくなっているのに対し、理工系は 25.3%から 24.4%と 0.9%小さくなり、生物系も 39.2%から 39.0%と 0.2%小さくなっている。人文社会系の割合が大きくなっているのに対し、理工系の割合が小さくなっている。

表 1－2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2007 年度）

金額単位/百万円

分野 研究種目		総合 領域	複合 新領域	人文学	社会 科学	数物系 科学	化学	工学	生物学	農学	医歯 薬学	時限 付き	研究 種目別 合計
基盤 研究 (S)	件数	37	44	13	9	44	27	71	29	20	50	0	344
	配分額	619	753	201	135	725	473	1,185	508	336	879	0	5,814
基盤 研究 (A)	件数	196	200	137	161	198	85	333	77	134	210	0	1,731
	配分額	1,888	1,887	1,005	1,305	1,874	931	3,554	819	1,199	2,320	0	16,782
基盤 研究 (B)	件数	923	569	573	755	587	309	1,249	317	668	1,648	0	7,598
	配分額	3,958	2,566	1,934	2,604	2,443	1,584	6,032	1,556	2,999	8,336	0	34,011
基盤 研究 (C)	件数	1,964	622	1,801	2,068	1,336	450	1,859	486	822	5,505	283	17,196
	配分額	2,487	821	1,697	2,090	1,465	701	2,544	755	1,159	8,007	369	22,094
萌芽 研究	件数	555	226	192	293	224	169	520	159	281	1,260	0	3,879
	配分額	746	340	180	302	275	285	816	249	421	1,891	0	5,506
若手 研究 (S)	件数	4	3	2	2	3	4	5	2	2	8	0	35
	配分額	76	82	11	23	81	70	64	23	21	148	0	600
若手 研究 (A)	件数	130	82	11	22	79	67	197	56	50	135	0	829
	配分額	724	463	38	88	438	409	1,216	344	285	826	0	4,831
若手 研究 (B)	件数	1,588	519	654	1,439	900	426	1,432	489	589	3,772	0	11,808
	配分額	1,945	659	562	1,298	995	629	1,934	722	784	5,188	0	14,716
若手研 究(ス タート アップ)	件数	162	73	119	234	106	61	186	75	85	523	0	1,624
	配分額	196	89	126	241	131	80	230	99	112	652	0	1,956
分野 別 合計	件数	5,559	2,338	3,502	4,983	3,477	1,598	5,852	1,690	2,651	13,111	283	45,044
	配分額	12,639	7,662	5,755	8,084	8,427	5,162	17,574	5,076	7,317	28,246	369	106,310
特別 研究 員奨 励費	件数	5,553											5,553
	配分額	5,245											5,245

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

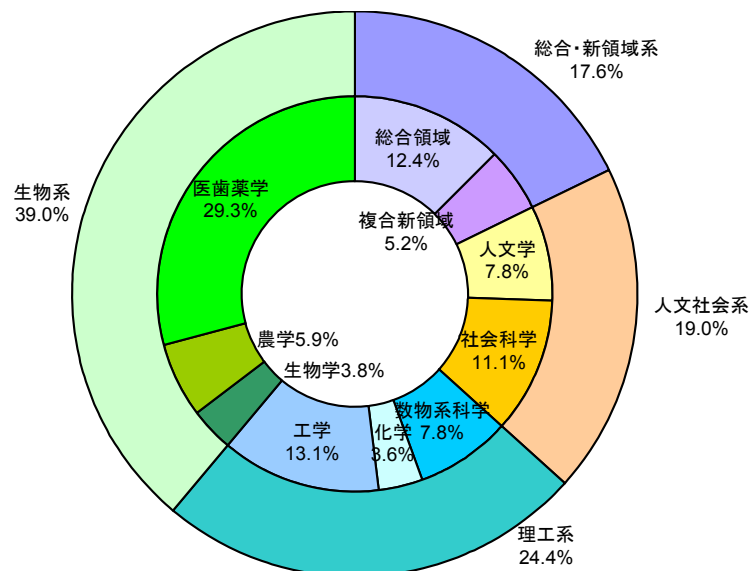


図 1－3 2007 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および
「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

次に、2007 年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみよう。2007 年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数上位 50 位を表 1－3 に、その棒グラフを図 1－4 に示す。

このような採択研究課題数による順位づけでは研究機関の規模が大きく反映されるほか、医学系の学部・研究科を持つ大学が比較的上位に現れやすい傾向がある。前年度と比較すると、1 位の東京大学から 11 位の神戸大学まで旧帝国大学、旧文理大学などが続き、その順位に変動はない。上位で特徴的なことは岡山大学と慶應義塾大学が順位を入れ替えているほか、理化学研究所が 16 位から 14 位に上昇していることである。中位グループでは群馬大学が 26 位から 24 位に上昇し、山口大学が 24 位から 26 位に後退している程度で、その他はおおむね±1 の変化に留まっている。40 位以降では、東京理科大学が同数 50 位から 43 位に上昇し、日本原子力研究開発機構が同数 48 位と上位 50 位入りを果たし、福井大学は 45 位から同数 48 位に、鳥取大学が 42 位から同数 48 位に後退し、奈良先端科学技術大学院大学、宮崎大学、佐賀大学が上位 50 位から姿を消している。

表 1－3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位（2007 年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	2,899	17,818,660	2,860
2	国	京都大学	2,362	11,936,750	2,310
3	国	東北大学	2,001	8,651,550	1,890
4	国	大阪大学	1,926	8,891,240	1,794
5	国	九州大学	1,489	5,116,740	1,466
6	国	北海道大学	1,432	5,011,528	1,456
7	国	名古屋大学	1,312	5,604,770	1,256
8	国	筑波大学	969	2,854,530	944
9	国	広島大学	855	2,263,450	837
10	国	東京工業大学	787	4,242,430	790
11	国	神戸大学	757	2,433,760	762
12	私	慶應義塾大学	668	1,996,116	622
13	国	岡山大学	623	1,625,470	644
14	他	理化学研究所	600	2,813,940	553
15	国	千葉大学	588	1,574,710	593
16	私	早稲田大学	566	1,593,181	576
17	国	金沢大学	552	1,246,450	501
18	国	熊本大学	431	1,197,600	408
19	国	東京医科歯科大学	424	1,649,710	407
20	国	新潟大学	414	975,000	458
21	国	長崎大学	401	993,480	390
22	国	徳島大学	381	975,430	402
22	私	日本大学	381	671,991	347
24	国	群馬大学	355	848,350	333
25	公	大阪市立大学	336	848,520	335
26	国	山口大学	323	628,160	340
27	国	鹿児島大学	321	715,170	305
28	国	信州大学	320	857,380	316
29	公	大阪府立大学	317	738,930	296
30	公	首都大学東京	298	749,990	288
31	他	産業技術総合研究所	296	922,360	272
32	国	愛媛大学	287	689,400	270
33	国	静岡大学	275	606,810	266
34	国	岐阜大学	265	543,890	267
35	国	富山大学	261	554,007	258
36	国	三重大学	250	585,380	240
37	国	山形大学	249	446,994	247
38	私	立命館大学	242	536,160	245
39	公	名古屋市立大学	228	504,020	224
40	国	東京農工大学	227	903,060	228
41	国	横浜国立大学	219	577,560	222
42	国	琉球大学	217	354,362	211
43	私	東京理科大学	209	538,330	185
44	国	弘前大学	207	377,230	204
45	私	東海大学	204	455,000	208
46	公	横浜市立大学	203	552,520	203
46	公	京都府立医科大学	203	474,780	186
48	他	日本原子力研究開発機構	198	782,310	161
48	国	福井大学	198	380,910	205
48	国	鳥取大学	198	364,590	217
合計			49,189	152,476,133	47,484

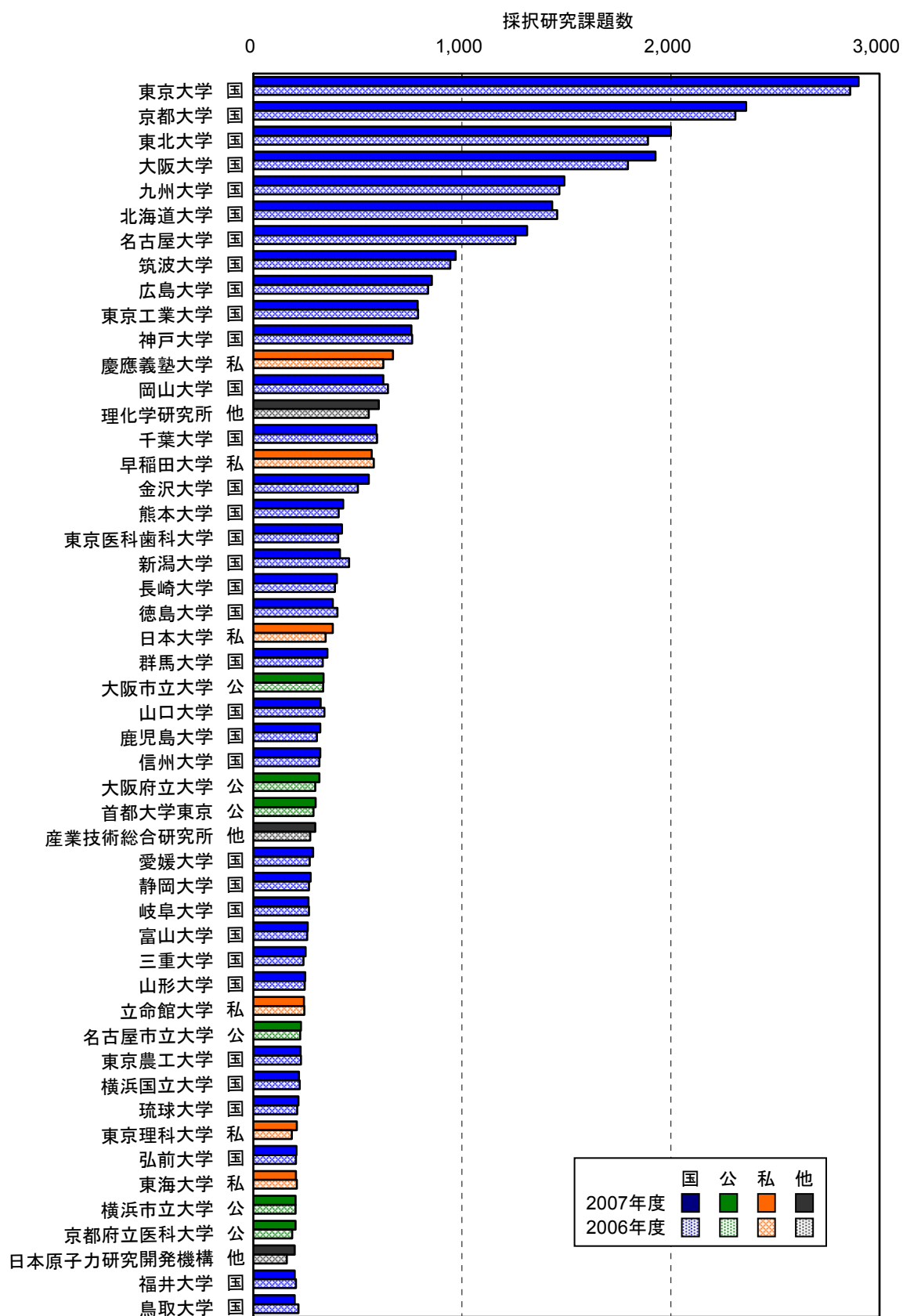


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位（2007 年度）

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の 2006 年度版の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2006 年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2006 年度の途中から 2007 年度の研究課題の採択までの間に、大学などの合併や名称変更などが行われている。2006 年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2007 年 4 月 1 日現在における大学などの合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないで、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析した。

- (1) 各「系」について、2007 年度の科学研究費補助金の採択研究課題数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に相当するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位 30 位まで整理する。ただし、採択研究課題数が 1 件の場合は省略し、2 件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、単年度では調査件数が少ないことから、2007 年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、2003 年度から 2007 年度までの 5 年間の総集編の出版を計画しており、そこであらためて分析対象としたい。

一方、本編の特別研究員奨励費については、制度的な適用の時間差から「KAKEN」に公開されているデータベース上では、2002 年度まで用いられた旧「細目表」の研究課題があったが、2007 年度ではそのような事例はほとんどないため、「系」別および「分野」別の分析では新「細目表」を用いて整理する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (2) 各「系」について、採択研究課題数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (3) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位 30 位まで整理する。ただし、採択研究課題数が 1 件の場合は省略し、2 件までの順位とする。

Ⅱ. 個別課題研究費編：特別研究員奨励費

1 概要

特別研究員制度は、歴史的には日本学術会議の要望「基礎科学の研究体制確立について」（昭和 32 年 1 月）に基づき 1959 年（昭和 34 年）に創設された「奨励研究員制度」の発展したものであり、日本学術会議答申「学術研究体制の改善のための基本的施策について」（昭和 59 年 2 月）によって現在の「特別研究員制度」が発足した。特別研究員（最長任期 3 年）とは、「優れた若手研究員を養成・確保するため、自由な発想のもとに主体的な研究を進める機会を与える」ために、博士課程の在学者もしくは修了者が自ら日本学術振興会に申請し、審査による選考を経て採用された萌芽的な研究者といえる。特別研究員奨励費は、個別課題研究費の研究種目の一つであるが、日本学術振興会特別研究員が行う研究に対する助成（研究期間 1 年）であり、採用期間の間、毎年申請すれば基本的には申請した研究課題が採択されることになっている。したがって、特別研究員奨励費は基盤研究、萌芽研究、若手研究等とは異なり、日本学術振興会の採用する特別研究員となることがこの研究費を得るための必須条件である。

特別研究員奨励費の採択、配分は科学研究費補助金のすべての「細目」にわたっている。2003 年度の「細目表」の改訂によって、特別研究員奨励費以外の個別課題研究費はすべて新「細目表」を用いているが、特別研究員の申請は前年度の 5 月上旬頃であるため、2003 年度に採用された特別研究員が特別研究員奨励費を申請する際にも旧「細目表」を用いていた。したがって、特別研究員の任期が原則として最長 3 年であるため、2004、2005 年度に採択された特別研究員奨励費については新「細目表」と旧「細目表」が混在していた。2007 年度は、ほぼすべてが新「細目表」による採択研究課題となり、旧「細目表」によるものは、部：理学 1 件、工学 23 件、複合領域 1 件の計 25 件のみとなっている。

特別研究員奨励費全体での機関別採択研究課題数上位 50 位を表 2-1 に、その棒グラフを図 2-1 に示す。図から明らかなように、東京大学が群を抜いており、京都大学がそれに続いている。旧帝国大学と東京工業大学までとそれ以降とではやや段差があり、以下、筑波大学、慶應義塾大学、早稲田大学とつづき、神戸大学と産業技術総合研究所の順位が前年度と逆転している。全体の傾向は、これまでと比較してほとんど変化がない。2007 年度の採択研究課題数は、前年度と比較すると全体で 2.7% 増えている。この中で、1 位の東京大学が採択研究課題数を 93 件伸ばし、48 件増の 2 位の京都大学との差をさらに広げている。また、産業技術総合研究所が採択研究課題数を減らした一方、大阪市立大学、立命館大学などが採択研究課題数を伸ばしている。

表 2－1 特別研究員奨励費採択研究課題数上位 50 位（2007 年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	1,283	1,180,057	1,190
2	国	京都大学	759	698,200	711
3	国	東北大学	328	307,653	301
4	国	大阪大学	320	299,200	327
5	国	九州大学	289	269,500	262
6	国	北海道大学	253	236,675	266
7	国	東京工業大学	221	203,800	201
8	国	名古屋大学	216	203,200	210
9	国	筑波大学	129	115,100	125
10	私	慶應義塾大学	122	111,400	104
11	私	早稲田大学	117	103,800	114
12	国	神戸大学	91	82,600	83
13	他	産業技術総合研究所	88	84,800	102
14	国	広島大学	72	67,600	79
15	他	理化学研究所	59	60,700	54
16	国	岡山大学	46	44,000	49
17	国	千葉大学	45	42,500	40
18	公	大阪市立大学	40	36,800	33
19	国	一橋大学	39	32,906	54
20	国	東京医科歯科大学	31	29,700	28
20	私	立命館大学	31	26,000	24
22	公	首都大学東京	30	31,100	37
22	国	熊本大学	30	29,900	33
24	国	横浜国立大学	26	23,400	27
25	国	東京農工大学	25	24,600	19
25	国	奈良先端科学技術大学院大学	25	24,000	39
25	国	岐阜大学	25	23,500	24
25	私	東京理科大学	25	22,900	20
29	国	愛媛大学	24	24,900	20
30	他	農業生物資源研究所	23	24,000	18
30	国	お茶の水女子大学	23	20,200	11
32	他	物質・材料研究機構	22	19,400	23
33	他	農業・食品産業技術総合研究機構	20	21,000	39
33	国	金沢大学	20	18,600	20
33	国	総合研究大学院大学	20	18,200	18
36	国	埼玉大学	19	16,500	15
37	国	電気通信大学	18	16,600	13
38	国	名古屋工業大学	17	17,600	16
38	国	群馬大学	17	17,000	12
38	国	新潟大学	17	16,000	18
38	私	日本大学	17	15,400	18
42	他	高エネルギー加速器研究機構	16	18,400	19
42	国	静岡大学	16	14,400	18
42	私	上智大学	16	13,826	18
45	他	森林総合研究所	15	14,500	16
45	国	琉球大学	15	14,000	10
45	国	鹿児島大学	15	13,100	6
48	他	国立天文台	14	14,700	13
48	国	徳島大学	14	14,000	13
48	国	信州大学	14	12,200	17
合計			5,911	5,518,518	5,757

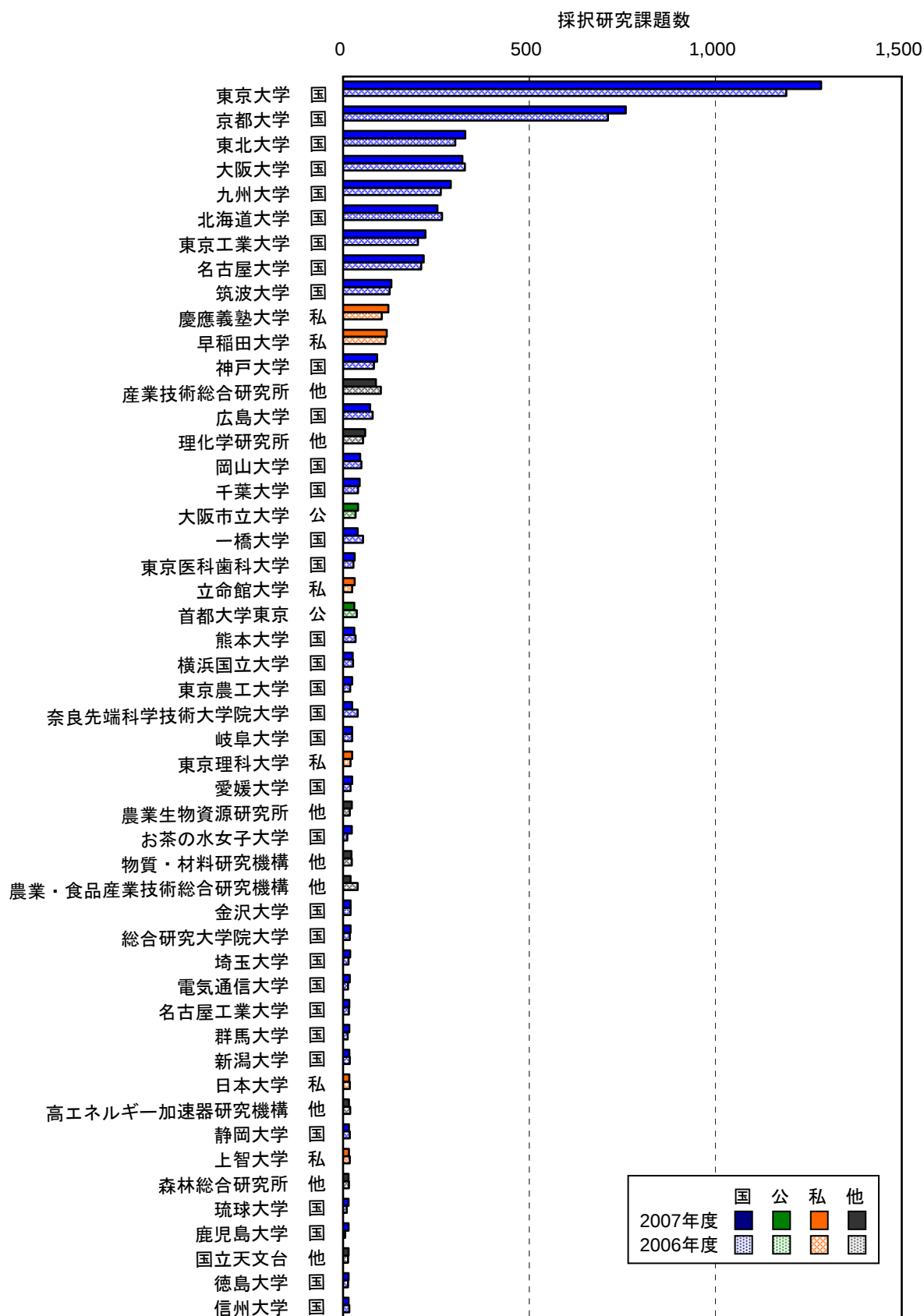


図 2 - 1 特別研究員奨励費採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

上位 15 機関の相対的な特別研究員奨励費の採択研究課題数の割合をみるために、円グラフにして図 2－2 に示す。東京大学から名古屋大学の上位 8 機関で全採択研究課題数の 62.1%、15 位の理化学研究所までで 73.5%を占める。表 2－1 に示した同数 48 位の信州大学までで全体の実に 87.2%を占めている。この傾向は 2006 年度までとほとんど変わっていない。上位 8 機関は順位に多少の変化はあるものの大きな変化はない。上位 8 機関の占有率はここ数年やや縮小する傾向にあったが、2006 年度以降は再び大きくなっているのが特徴である。

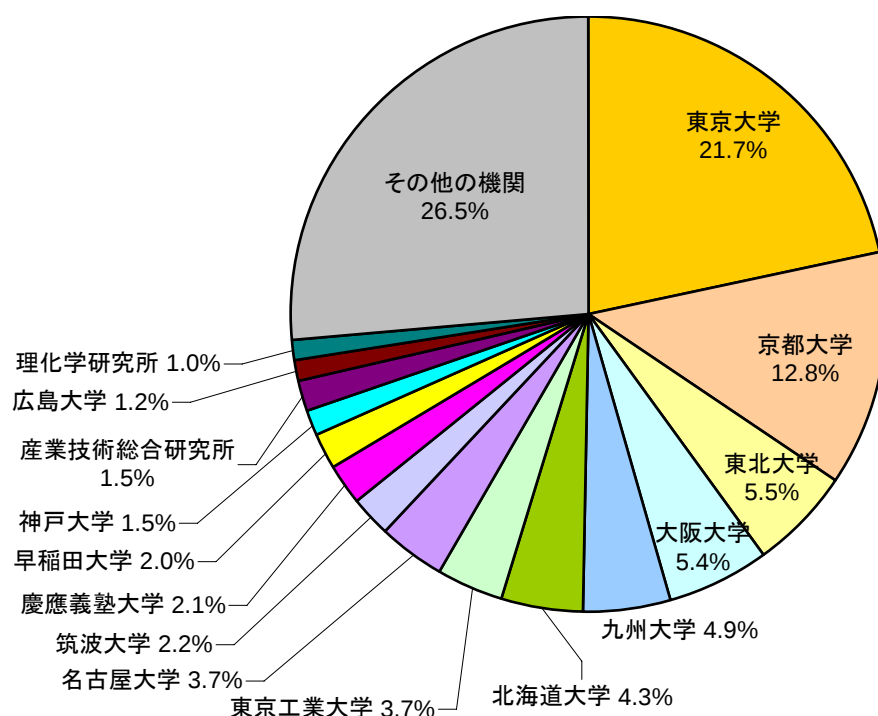


図 2－2 特別研究員奨励費上位 15 機関とその他の機関との相対的採択研究課題数の割合（2007 年度）

表 2－2 に特別研究員奨励費全体の採択研究課題数を旧「細目表」の「部」または新「細目表」の「分野」別に示した。前年度までの調査研究では、新旧「細目表」が混在していたことから、独自に「研究領域」を定義して、「研究領域」別の解析を行ってきた。しかし、表から明らかなように、旧「細目表」を用いている研究課題は 25 件のみとなっている。そこで、2007 年度では、新「細目表」の研究課題のみを用いて、他の個別課題研究費と同様に、特別研究員奨励費も「系」別、「分野」別に研究機関ごとの採択研究課題数について整理する。新「細目表」の「系」別の分布を図 2－3 の円グラフに示す。なお、「KAKEN」に登録されている採択された特別研究員奨励費のうち、56 件については「細目」の記載がないため、表 2－1 と表 2－2 の合計欄の件数や金額が異なっている。

図 2－3 から明らかなように、人文社会系、総合・新領域系では採択研究課題数を増やし、理工系、生物系では採択研究課題数は同程度、あるいはやや増加しているものの、割合は明らかに縮小している。

表 2－2 特別研究員奨励費「部」または「分野」別 採択研究課題数（2007 年度）

金額単位/千円				
旧細目表	部		件数	金額
	文学		0	0
	法学		0	0
	経済学		0	0
	理学		1	557
	工学		23	21,500
	農学		0	0
	医学		0	0
	複合領域		1	1,200
	小計		25	23,257
新細目表	系	分野	件数	金額
	総合・ 新領域系	総合領域	571	537,300
		複合新領域	380	353,100
	人文社会系	人文学	535	436,726
		社会科学	542	471,459
	理工系	数物系科学	745	709,600
		化学	526	499,800
		工学	792	739,900
	生物系	生物学	581	566,900
		農学	589	573,575
		医歯薬学	569	556,400
	小計		5,830	5,444,761
	合計		5,855	5,468,018

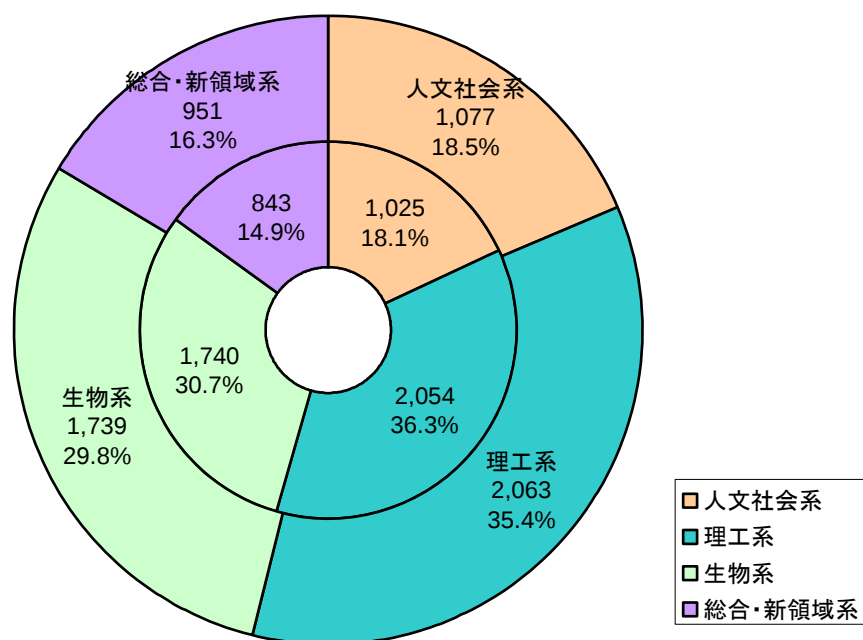


図 2－3 特別研究員奨励費「系」別 採択研究課題数
（内周 2006 年度、外周 2007 年度）

「分野」ごとの採択研究課題数の割合を図2－4の円グラフに示した。「分野」ごとの割合を前年度と比較すると、人文学が8.9%から9.2%に、社会科学が9.2%から9.3%に、総合領域が9.0%から9.8%に、複合新領域が5.9%から6.5%に大きくなっている。これに対し、理工系、生物系の「分野」では、数物系科学が13.0%から12.8%に、化学が9.3%から9.0%に、工学が13.9%から13.6%に、生物学が10.8%から10.0%に、農学が10.8%から10.1%に小さくなり、医歯薬学のみが9.2%から9.8%に大きくなっている。他の個別課題研究費と同様、人文社会系の割合が大きくなり、理工系が小さくなる傾向が、特別研究員奨励費でも現れている。

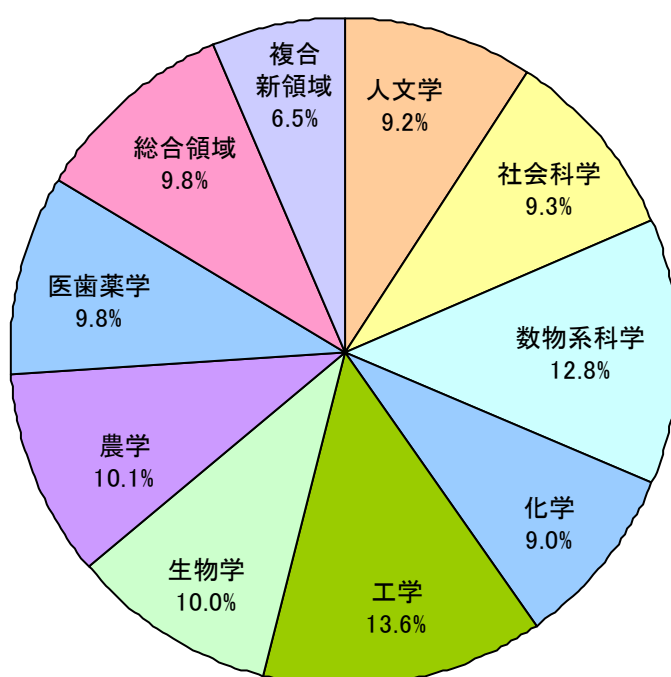


図2－4 特別研究員奨励費「分野」別 採択研究課題数の割合（2007 年度）

2 系別

2-1 人文社会系

人文社会系の機関別の採択研究課題数上位 50 位を表 2-4 に、その棒グラフを図 2-5 に示す。人文社会系の特別研究員奨励費の採択研究課題数については、東京大学と京都大学が他の機関を圧倒していることがわかる。東京大学が人文社会系全体の 4 分の 1 以上の 26.7% を占め、京都大学が 13.0% と両大学で全体の約 4 割を占めている。2 桁の採択研究課題数を獲得している上位 16 大学のうち、私立大学は早稲田大学（4 位）、慶應義塾大学（7 位）、立命館大学（13 位）、上智大学（15 位）の 4 大学となり、公立大学は大阪市立大学が 14 位に入っている。人文社会系全体としてみれば、特別研究員は上位 10 大学以降では非常に幅広く所属しており、所属先には私立大学や研究所なども多い。

前年度と比較すると、上位の大学の順位がやや変化している。1 位の東京大学、2 位の京都大学は変わらないが、大阪大学が 5 位から 3 位に、筑波大学が 8 位から 5 位に順位を上げている。これに対して、一橋大学が 3 位から同数 5 位に、北海道大学が 6 位から 8 位に、九州大学が 7 位から同数 11 位に、広島大学が 13 位から同数 17 位にそれぞれ後退しているのが目立つ。

分野：人文学、社会科学について、採択研究課題数上位 30 位までを表 2-5 に示す。どの「分野」においても、東京大学と京都大学が 1 位と 2 位を占め、多くの私立大学が上位 30 位に現れるのが特徴である。

表 2－4 人文社会系 採択研究課題数上位 50 位（2007 年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	288	234,200	251
2	国	京都大学	140	113,100	139
3	国	大阪大学	52	46,600	48
4	私	早稲田大学	43	34,800	50
5	国	筑波大学	36	30,600	31
5	国	一橋大学	36	30,006	51
7	私	慶應義塾大学	35	31,100	28
8	国	北海道大学	33	27,300	37
9	国	名古屋大学	32	27,800	29
10	国	東北大学	31	25,953	28
11	国	九州大学	29	24,900	34
11	国	神戸大学	29	22,000	25
13	私	立命館大学	23	18,600	14
14	公	大阪市立大学	13	10,400	15
15	私	上智大学	11	9,126	11
16	国	東京外国語大学	10	8,700	8
17	公	首都大学東京	9	10,100	13
17	国	お茶の水女子大学	9	7,400	5
17	国	広島大学	9	7,300	18
20	他	東洋文庫	8	9,800	7
20	他	国立民族学博物館	8	7,500	5
20	国	東京工業大学	8	7,200	4
20	私	中央大学	8	6,500	7
24	国	東京学芸大学	7	6,500	3
24	私	関西学院大学	7	5,700	9
24	私	学習院大学	7	5,400	5
27	他	産業技術総合研究所	5	5,100	4
27	私	明治大学	5	4,500	4
27	国	横浜国立大学	5	4,100	6
27	私	同志社大学	5	3,900	6
27	国	千葉大学	5	3,600	5
32	国	東京芸術大学	4	5,300	3
32	私	東洋大学	4	4,300	1
32	私	青山学院大学	4	3,900	5
32	私	法政大学	4	3,400	9
32	私	国際基督教大学	4	3,300	4
37	他	生理学研究所	3	3,400	1
37	国	埼玉大学	3	2,900	2
37	私	立教大学	3	2,900	2
37	私	國學院大學	3	2,700	5
37	他	国文学研究資料館	3	2,500	4
37	私	日本大学	3	2,200	3
37	私	甲南大学	3	2,200	1
44	私	成城大学	2	2,200	1
44	他	東京国立博物館	2	2,200	1
44	国	金沢大学	2	2,100	1
44	私	日本女子大学	2	2,000	1
44	私	明治学院大学	2	1,900	3
44	国	富山大学	2	1,800	1
44	私	成蹊大学	2	1,800	2
44	私	愛知学院大学	2	1,800	1
44	私	南山大学	2	1,800	1
44	国	政策研究大学院大学	2	1,700	5
44	公	大阪府立大学	2	1,600	1
44	私	大東文化大学	2	1,600	2
44	私	神奈川大学	2	1,600	1
44	私	関西大学	2	1,600	2
44	国	総合研究大学院大学	2	1,400	5
44	他	国立歴史民俗博物館	2	1,300	4
44	私	佛教大学	2	1,200	2
44	国	岡山大学	2	900	2
合計			1,077	908,186	1,025

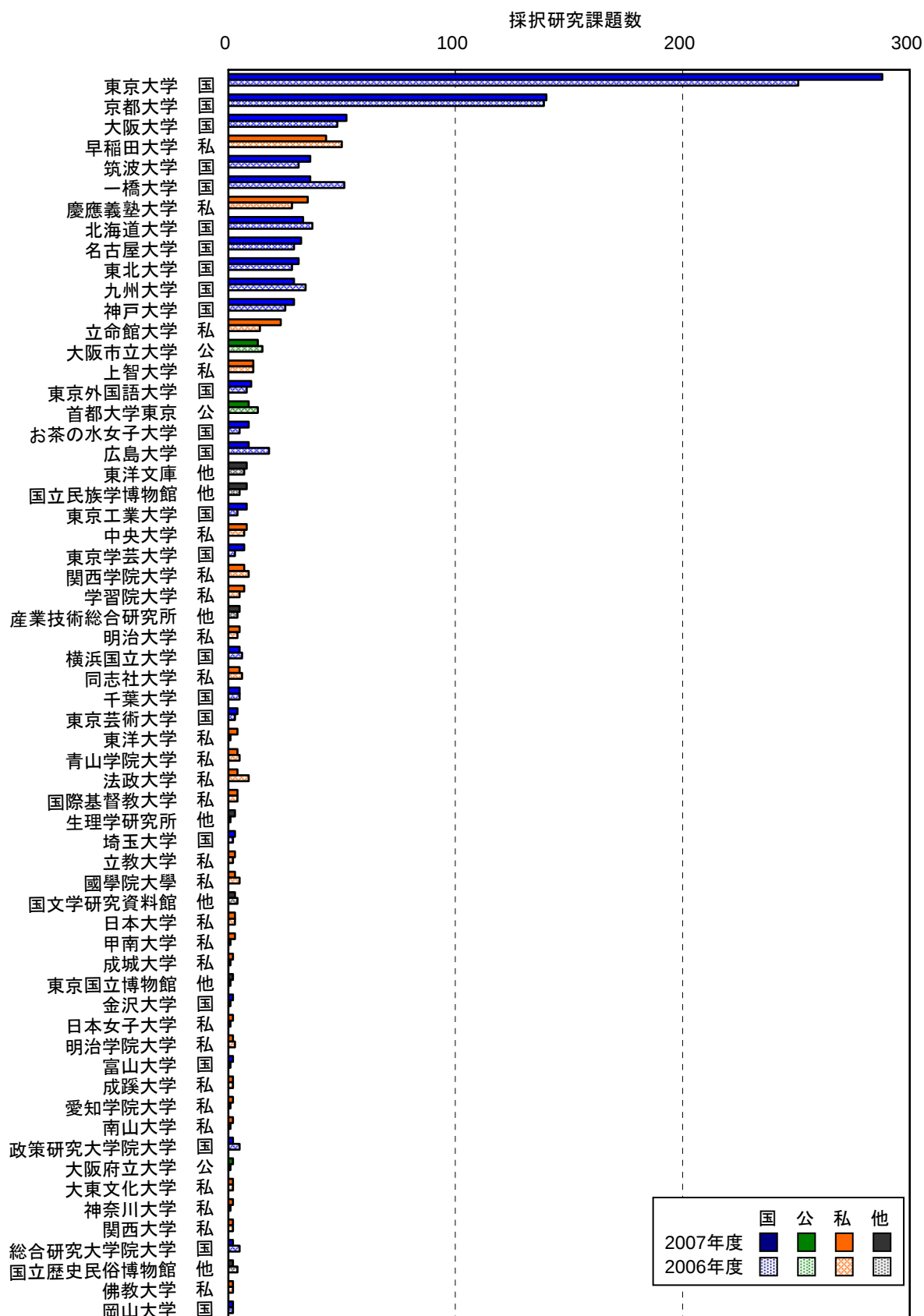


図 2 - 5 人文社会系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

表2-5 人文社会系「分野」別採択研究課題数上位30位(2007年度)

金額単位/千円

人文学					社会科学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	150	119,900	1	国	東京大学	138	114,300
2	国	京都大学	75	57,200	2	国	京都大学	65	55,900
3	私	早稲田大学	22	17,100	3	国	大阪大学	34	32,600
4	国	筑波大学	21	18,500	4	国	一橋大学	31	26,206
5	国	大阪大学	18	14,000	5	私	早稲田大学	21	17,700
6	国	北海道大学	17	12,800	6	私	慶應義塾大学	19	18,700
7	私	慶應義塾大学	16	12,400	6	国	東北大学	19	16,153
8	私	立命館大学	15	13,000	6	国	九州大学	19	15,900
9	国	名古屋大学	14	12,200	9	国	名古屋大学	18	15,600
9	国	神戸大学	14	10,800	10	国	北海道大学	16	14,500
11	国	東北大学	12	9,800	11	国	筑波大学	15	12,100
12	国	九州大学	10	9,000	11	国	神戸大学	15	11,200
13	他	国立民族学博物館	8	7,500	13	国	東京工業大学	8	7,200
13	国	東京外国語大学	8	6,700	13	私	立命館大学	8	5,600
13	公	大阪市立大学	8	6,400	15	国	広島大学	6	5,200
16	他	東洋文庫	7	8,700	15	私	関西学院大学	6	5,000
16	公	首都大学東京	7	6,200	17	他	産業技術総合研究所	5	5,100
16	私	上智大学	7	5,526	17	公	大阪市立大学	5	4,000
19	国	お茶の水女子大学	6	4,700	19	私	東洋大学	4	4,300
20	国	一橋大学	5	3,800	19	私	上智大学	4	3,600
21	国	東京学芸大学	4	3,600	19	私	中央大学	4	3,300
21	私	中央大学	4	3,200	19	国	横浜国立大学	4	3,000
21	私	学習院大学	4	2,600	23	他	生理学研究所	3	3,400
24	国	東京芸術大学	3	4,800	23	国	東京学芸大学	3	2,900
24	私	國學院大學	3	2,700	23	私	学習院大学	3	2,800
24	私	法政大学	3	2,500	23	私	国際基督教大学	3	2,800
24	他	国文学研究資料館	3	2,500	23	国	お茶の水女子大学	3	2,700
24	国	広島大学	3	2,100	23	私	同志社大学	3	2,300
24	私	明治大学	3	1,900	29	公	首都大学東京	2	3,900
24	国	千葉大学	3	1,600	29	私	明治大学	2	2,600
					29	国	千葉大学	2	2,000
					29	国	東京外国語大学	2	2,000
					29	国	富山大学	2	1,800
					29	私	立教大学	2	1,800
					29	国	政策研究大学院大学	2	1,700
					29	私	青山学院大学	2	1,700
					29	公	大阪府立大学	2	1,600
合計			535	436,726	合計			542	471,459

2-2 理工系

理工系全体での機関別採択研究課題数上位 50 位を表 2-6 に、その棒グラフを図 2-6 に示す。

理工系の特別研究員奨励費の採択研究課題数についても、東京大学と京都大学が上位を占めるが、人文社会系ほどに他の研究機関との差は大きくない。しかし、人文社会系と比較して、国立大学が上位を占め、旧帝国大学と東京工業大学に全体の約 7 割が集中し、公立大学や私立大学の占める割合が小さいことがわかる。東京大学が前年度に引き続き全体の約 5 分の 1 を占めているだけでなく、占有率を 20.4%から 21.7%に上げているのに対し、京都大学は 11.7%から 11.8%へとほとんど変わっていない。採択研究課題数が上位の大学に集中しているため、20 位以降の機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

前年度と比べると、上位の大学の順位はほとんど変化していない。東京理科大学が同数 24 位から同数 17 位に、横浜国立大学が同数 19 位から同数 17 位に順位を上げ、電気通信大学も同数 32 位から同数 24 位に、東京農工大学も同数 38 位から同数 26 位に躍進しているが、いずれの機関も採択研究課題数が 10 件程度であるため、今後の動向をみたいところである。

以下、分野：数物系科学、化学、工学について、採択研究課題数上位 30 位までを表 2-7～2-8 に示す。分野：数物系科学では東京大学が全体の 30.2%を占めており、2 位以降を大きく引き離している一方、分野：化学では 1 位の京都大学と 2 位の東京大学の差はわずか 6 件である。また、分野：工学では 1 位は東京大学であるが、2 位が東北大学、3 位が東京工業大学と続いている。このように「分野」によって明らかに順位の傾向を異にしている。

表 2-6 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	448	425,200	419
2	国	京都大学	244	231,400	240
3	国	東北大学	175	165,400	164
4	国	東京工業大学	139	127,300	130
5	国	大阪大学	127	119,800	137
6	国	九州大学	115	108,400	99
7	国	北海道大学	87	84,100	86
8	国	名古屋大学	85	79,500	94
9	他	産業技術総合研究所	47	42,800	63
10	私	早稲田大学	40	36,200	37
11	国	広島大学	39	37,200	33
12	私	慶應義塾大学	37	32,500	41
13	国	筑波大学	35	30,400	31
14	国	神戸大学	24	23,300	22
15	他	物質・材料研究機構	18	16,800	20
16	他	理化学研究所	16	15,600	17
17	他	高エネルギー加速器研究機構	14	16,500	17
17	他	国立天文台	14	14,700	13
17	公	首都大学東京	14	14,000	17
17	私	東京理科大学	14	12,600	11
17	国	横浜国立大学	14	12,500	16
22	国	埼玉大学	13	11,200	9
23	国	熊本大学	12	12,100	16
24	国	岡山大学	11	11,100	13
24	国	電気通信大学	11	9,800	7
26	国	名古屋工業大学	10	10,900	10
26	国	東京農工大学	10	10,100	6
26	公	大阪市立大学	10	9,800	9
26	国	千葉大学	10	9,600	9
30	国	奈良先端科学技術大学院大学	9	8,800	11
30	国	岐阜大学	9	8,000	8
32	他	海洋研究開発機構	8	7,600	6
32	国	静岡大学	8	7,500	9
32	国	京都工芸繊維大学	8	7,200	7
35	国	山口大学	7	7,400	6
35	国	新潟大学	7	6,500	7
37	他	宇宙航空研究開発機構	6	7,700	12
37	国	愛媛大学	6	6,300	7
37	国	豊橋技術科学大学	6	5,700	5
37	国	総合研究大学院大学	6	5,400	2
41	他	分子科学研究所	5	5,200	3
42	私	日本大学	4	4,500	6
42	国	九州工業大学	4	3,800	4
42	国	佐賀大学	4	3,500	3
42	私	東京工芸大学	4	3,400	3
42	私	関西学院大学	4	3,100	3
47	私	近畿大学	3	3,300	3
47	他	核融合科学研究所	3	3,100	6
47	国	宮崎大学	3	3,000	3
47	国	金沢大学	3	2,800	3
47	国	東京医科歯科大学	3	2,700	3
47	私	青山学院大学	3	2,700	5
47	私	立教大学	3	2,700	4
47	私	立命館大学	3	2,700	3
47	公	大阪府立大学	3	2,600	7
47	国	長岡技術科学大学	3	2,400	7
47	国	三重大学	3	2,400	4
47	国	鹿児島大学	3	2,300	0
47	国	信州大学	3	2,200	3
47	国	北陸先端科学技術大学院大学	3	2,100	4
合計			2,063	1,949,300	2,054

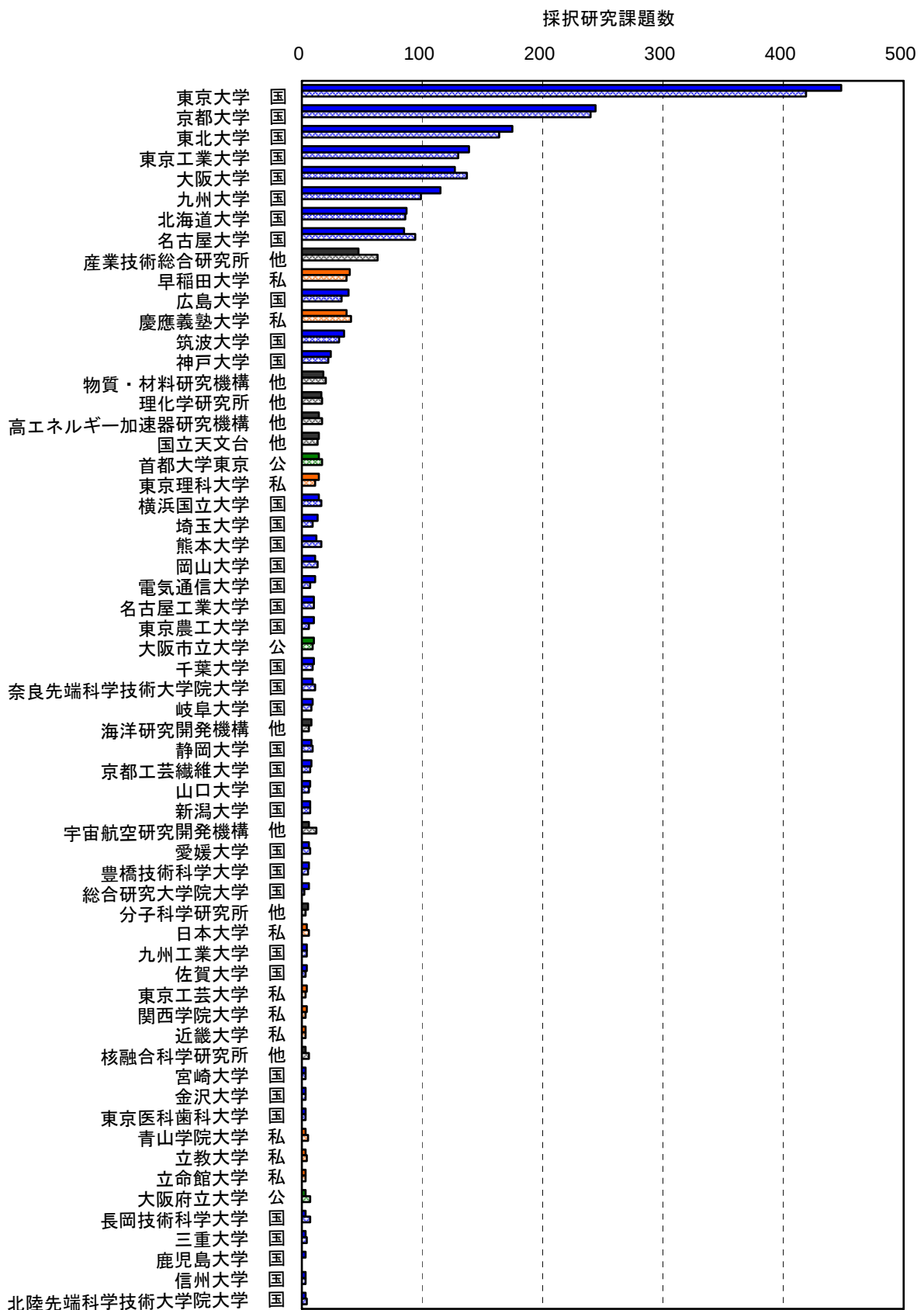


図 2 - 6 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

表2-7 理工系「分野」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(1)

金額単位/千円

数物系科学					化学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	225	213,600	1	国	京都大学	80	77,400
2	国	京都大学	113	107,000	2	国	東京大学	74	70,000
3	国	東北大学	61	56,100	3	国	九州大学	50	47,000
4	国	大阪大学	36	34,500	4	国	大阪大学	41	38,100
5	国	名古屋大学	31	29,200	5	国	東京工業大学	39	35,700
6	国	北海道大学	28	25,100	6	国	名古屋大学	29	27,500
7	国	東京工業大学	27	25,600	7	国	北海道大学	27	27,100
8	国	九州大学	25	23,200	8	国	東北大学	25	25,000
9	国	広島大学	18	17,500	9	国	筑波大学	13	11,400
10	私	早稲田大学	16	15,600	10	他	産業技術総合研究所	12	11,700
11	他	国立天文台	14	14,700	11	私	慶應義塾大学	11	9,900
11	国	筑波大学	14	12,200	11	私	早稲田大学	11	9,500
13	他	高エネルギー加速器研究機構	12	12,900	13	国	熊本大学	7	7,600
14	他	産業技術総合研究所	10	9,500	13	私	東京理科大学	7	6,500
15	国	神戸大学	9	9,600	15	公	首都大学東京	6	5,800
16	他	海洋研究開発機構	8	7,600	16	他	分子科学研究所	5	5,200
17	他	宇宙航空研究開発機構	6	7,700	16	公	大阪市立大学	5	5,000
17	国	岡山大学	6	6,200	16	国	神戸大学	5	4,700
17	他	理化学研究所	6	6,000	16	国	奈良先端科学技術大学院大学	5	4,700
17	私	慶應義塾大学	6	4,900	16	他	理化学研究所	5	4,300
21	国	愛媛大学	5	5,200	21	国	京都工芸繊維大学	4	3,400
21	国	千葉大学	5	4,800	21	私	関西学院大学	4	3,100
21	国	総合研究大学院大学	5	4,500	23	国	岡山大学	3	3,100
24	公	大阪市立大学	4	3,900	23	国	佐賀大学	3	2,900
24	国	新潟大学	4	3,800	23	他	物質・材料研究機構	3	2,900
24	国	埼玉大学	4	3,600	23	国	東京農工大学	3	2,800
27	私	近畿大学	3	3,300	27	私	神奈川大学	2	2,400
27	公	首都大学東京	3	3,200	27	私	日本大学	2	2,300
27	私	青山学院大学	3	2,700	27	他	神奈川科学技術アカデミー	2	2,300
27	私	立教大学	3	2,700	27	国	山口大学	2	2,100
					27	国	群馬大学	2	2,000
					27	国	横浜国立大学	2	2,000
					27	国	信州大学	2	2,000
					27	国	静岡大学	2	1,800
					27	国	名古屋工業大学	2	1,800
					27	私	甲南大学	2	1,800
					27	公	大阪府立大学	2	1,700
					27	私	関西大学	2	1,700
					27	国	広島大学	2	1,500
					27	国	北陸先端科学技術大学院大学	2	1,300
合計			745	709,600	合計			526	499,800

表 2－8 理工系「分野」別採択研究課題数上位 30 位（2007 年度）（2）

金額単位/千円

工学				
順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	149	141,600
2	国	東北大学	89	84,300
3	国	東京工業大学	73	66,000
4	国	京都大学	51	47,000
5	国	大阪大学	50	47,200
6	国	九州大学	40	38,200
7	国	北海道大学	32	31,900
8	国	名古屋大学	25	22,800
8	他	産業技術総合研究所	25	21,600
10	私	慶應義塾大学	20	17,700
11	国	広島大学	19	18,200
12	他	物質・材料研究機構	13	12,200
12	私	早稲田大学	13	11,100
14	国	横浜国立大学	11	9,400
15	国	神戸大学	10	9,000
16	国	電気通信大学	9	8,600
17	国	名古屋工業大学	8	9,100
17	国	筑波大学	8	6,800
17	国	埼玉大学	8	6,700
20	国	東京農工大学	7	7,300
20	国	岐阜大学	7	6,100
22	国	山口大学	5	5,300
22	他	理化学研究所	5	5,300
22	公	首都大学東京	5	5,000
22	国	静岡大学	5	4,800
22	国	豊橋技術科学大学	5	4,800
22	国	熊本大学	5	4,500
22	私	東京理科大学	5	4,200
29	国	奈良先端科学技術大学院大学	4	4,100
29	国	千葉大学	4	3,900
29	国	京都工芸繊維大学	4	3,800
29	私	東京工芸大学	4	3,400
合計			792	739,900

2-3 生物系

生物系全体での機関別の採択研究課題数上位 50 位を表 2-9 に、その棒グラフを図 2-7 に示す。新「細目表」では分野：医歯薬学が生物系に属しているのが特徴である。

前年度と比較すると、東京大学が 1 位、京都大学が 2 位と順位は変わらず、他の「系」では旧帝国大学のなかでは比較的下位に位置している九州大学、北海道大学が旧帝国大学の上位に位置していることも変化がない。農業・食品産業技術総合研究機構が 8 位から同数 14 位に後退しているが、理化学研究所が同数 14 位から 10 位に、農業生物資源研究所が同数 17 位から同数 12 位に順位を上げ、森林総合研究所、基礎生物学研究所なども順位を上げている。

生物系の「分野」別の採択研究課題数上位 30 位を表 2-10～2-11 に示す。いずれの「分野」でも 1 位が東京大学、2 位が京都大学という図式に変わりはないが、3 位以降にそれぞれの機関の特徴が現れており、また研究所群の活躍も目立つ。前年度と同様に、分野：医歯薬学では慶應義塾大学が同数 15 位と、他の個別課題研究費の分野：医歯薬学の順位（8 位）に比べると低くなっている。

表 2－9 生物系 採択研究課題数上位 50 位（2007 年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	361	349,100	331
2	国	京都大学	224	216,900	218
3	国	九州大学	107	102,500	90
4	国	北海道大学	103	96,675	106
5	国	大阪大学	85	81,600	89
6	国	東北大学	71	67,700	64
6	国	名古屋大学	71	67,500	65
8	国	筑波大学	32	30,300	33
9	国	岡山大学	31	29,700	32
10	他	理化学研究所	30	31,100	19
11	国	神戸大学	28	26,900	30
12	他	農業生物資源研究所	22	22,800	17
12	国	千葉大学	22	21,600	19
14	他	農業・食品産業技術総合研究機構	19	19,800	37
14	国	東京工業大学	19	19,000	22
14	国	広島大学	19	18,600	23
17	国	熊本大学	16	15,800	16
17	国	東京医科歯科大学	16	15,700	17
19	他	森林総合研究所	15	14,500	15
20	他	基礎生物学研究所	12	13,600	13
20	他	産業技術総合研究所	12	13,400	18
22	国	群馬大学	11	11,400	8
22	国	愛媛大学	11	11,300	7
22	国	徳島大学	11	10,900	10
22	国	金沢大学	11	10,100	12
26	私	慶應義塾大学	10	11,200	8
26	国	岐阜大学	10	9,400	8
26	他	農業環境技術研究所	10	9,000	9
29	国	高知大学	9	9,400	7
29	国	奈良先端科学技術大学院大学	9	8,900	14
29	国	宮崎大学	9	8,700	9
29	公	大阪市立大学	9	8,600	5
29	国	信州大学	9	8,400	10
29	国	東京農工大学	9	8,000	9
35	他	国立遺伝学研究所	8	9,100	10
35	国	鳥取大学	8	8,800	8
35	私	早稲田大学	8	8,000	8
35	国	鹿児島大学	8	7,500	6
35	国	琉球大学	8	7,300	7
35	私	京都薬科大学	8	6,800	8
35	国	岩手大学	8	6,700	11
42	国	新潟大学	7	6,600	9
42	私	日本大学	7	6,100	7
42	国	静岡大学	7	6,000	7
45	国	長崎大学	6	7,300	8
45	国	総合研究大学院大学	6	5,700	8
45	国	富山大学	6	5,300	4
48	他	国際農林水産業研究センター	5	5,500	6
48	国	名古屋工業大学	5	5,100	3
48	公	名古屋市立大学	5	5,100	8
48	私	東京理科大学	5	4,800	7
48	国	帯広畜産大学	5	4,700	6
合計			1,739	1,696,875	1,740

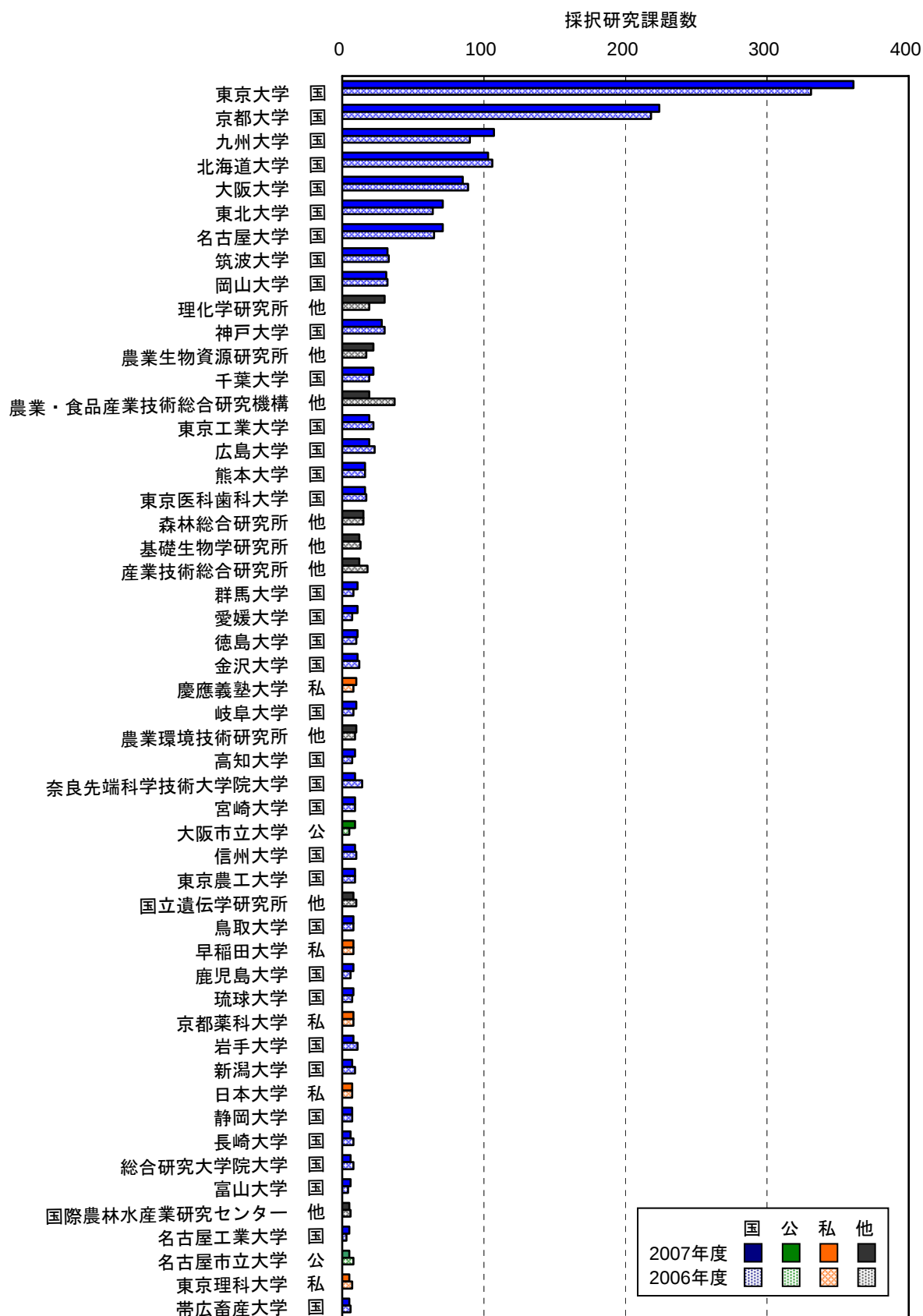


図 2 - 7 生物系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

表 2-10 生物系「分野」別採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度) (1)

金額単位/千円

生物学					農学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	126	120,200	1	国	東京大学	127	125,400
2	国	京都大学	85	81,700	2	国	京都大学	66	64,000
3	国	北海道大学	34	31,300	3	国	北海道大学	46	43,375
4	国	大阪大学	33	31,700	4	国	九州大学	42	40,600
5	国	名古屋大学	32	30,500	5	国	東北大学	36	34,500
6	国	九州大学	27	26,600	6	国	名古屋大学	20	19,500
7	他	理化学研究所	19	20,300	7	他	農業・食品産業技術総合研究機構	19	19,800
8	国	東京工業大学	16	16,000	8	他	農業生物資源研究所	18	18,700
9	他	基礎生物学研究所	12	13,600	9	国	岡山大学	17	16,300
9	国	筑波大学	12	11,800	10	他	森林総合研究所	14	13,400
11	国	東北大学	11	10,400	11	国	神戸大学	13	12,100
12	国	広島大学	9	8,900	12	他	農業環境技術研究所	9	8,200
13	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	6,800	13	他	理化学研究所	8	7,300
13	国	岡山大学	7	6,500	13	国	東京農工大学	8	7,100
15	他	国立遺伝学研究所	6	6,800	15	国	筑波大学	7	6,100
15	国	神戸大学	6	5,900	15	国	岩手大学	7	5,800
17	国	東京医科歯科大学	5	5,300	17	私	日本大学	6	5,400
17	私	早稲田大学	5	5,100	17	国	岐阜大学	6	5,200
17	国	熊本大学	5	4,900	17	国	宮崎大学	6	5,200
17	国	総合研究大学院大学	5	4,800	20	国	鳥取大学	5	5,800
17	国	信州大学	5	4,500	20	他	産業技術総合研究所	5	5,700
22	私	立教大学	4	4,400	20	国	高知大学	5	5,000
22	他	産業技術総合研究所	4	4,300	20	国	広島大学	5	4,700
22	他	農業生物資源研究所	4	4,100	20	国	静岡大学	5	4,200
22	公	横浜市立大学	4	4,000	25	他	国際農林水産業研究センター	4	4,400
22	公	大阪市立大学	4	3,800	25	国	鹿児島大学	4	4,100
22	国	新潟大学	4	3,600	25	国	愛媛大学	4	3,900
22	国	千葉大学	4	3,400	25	国	帯広畜産大学	4	3,500
22	国	金沢大学	4	3,400	29	国	千葉大学	3	3,500
30	他	海洋研究開発機構	3	3,500	29	他	水産総合研究センター	3	3,400
30	公	兵庫県立大学	3	3,000	29	国	信州大学	3	3,000
30	私	東京理科大学	3	3,000	29	国	佐賀大学	3	3,000
30	国	名古屋工業大学	3	2,900	29	国	琉球大学	3	2,900
30	国	琉球大学	3	2,900	29	私	早稲田大学	3	2,900
30	国	富山大学	3	2,700	29	私	近畿大学	3	2,900
					29	私	酪農学園大学	3	2,600
					29	公	大阪府立大学	3	2,200
					29	国	三重大大学	3	1,800
合計			581	566,900	合計			589	573,575

表 2－1 1 生物系「分野」別採択研究課題数上位 30 位（2007 年度）（2）

金額単位/千円

医歯薬学				
順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	108	103,500
2	国	京都大学	73	71,200
3	国	大阪大学	50	47,800
4	国	九州大学	38	35,300
5	国	東北大学	24	22,800
6	国	北海道大学	23	22,000
7	国	名古屋大学	19	17,500
8	国	千葉大学	15	14,700
9	国	筑波大学	13	12,400
10	国	熊本大学	11	10,900
10	国	東京医科歯科大学	11	10,400
12	国	群馬大学	10	10,300
13	国	神戸大学	9	8,900
13	国	徳島大学	9	8,700
15	私	慶應義塾大学	8	9,600
15	私	京都薬科大学	8	6,800
17	国	岡山大学	7	6,900
17	国	金沢大学	7	6,700
19	国	長崎大学	6	7,300
20	国	愛媛大学	5	5,400
20	公	名古屋市立大学	5	5,100
20	国	広島大学	5	5,000
23	国	高知大学	4	4,400
23	公	大阪市立大学	4	3,900
25	他	生理学研究所	3	4,700
25	他	理化学研究所	3	3,500
25	他	産業技術総合研究所	3	3,400
25	私	順天堂大学	3	3,100
25	国	鳥取大学	3	3,000
25	他	国立長寿医療センター	3	3,000
25	国	鹿児島大学	3	2,200
合計			569	556,400

2－4 総合・新領域系

総合・新領域系全体での機関別の採択研究課題数上位 50 位を表 2－1 2 に、その棒グラフを図 2－8 に示す。

総合・新領域系では 2 位の京都大学の占有率が大きくなっているものの、全体としてはこれまでと同様の傾向を示している。また慶應義塾大学が 6 位と上位を占めているのが特徴である。

分野：総合領域、複合新領域について、採択研究課題数上位 30 位を表 2－1 3 に示す。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表する。

表 2-1-2 総合・新領域系採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	169	155,100	165
2	国	京都大学	133	120,100	97
3	国	大阪大学	51	46,600	49
4	国	東北大学	49	46,600	42
5	国	東京工業大学	48	44,100	38
6	私	慶應義塾大学	40	36,600	26
7	国	九州大学	36	32,200	36
8	国	北海道大学	29	27,700	35
9	国	名古屋大学	26	27,000	21
10	他	産業技術総合研究所	23	22,400	16
10	国	筑波大学	23	21,100	26
12	私	早稲田大学	22	21,100	14
13	他	理化学研究所	13	14,000	16
14	国	東京医科歯科大学	12	11,300	8
15	国	神戸大学	10	10,400	6
16	国	お茶の水女子大学	9	8,000	4
16	他	国立環境研究所	9	7,500	3
18	国	千葉大学	8	7,700	7
19	国	愛媛大学	7	7,300	6
19	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	6,300	14
21	国	岐阜大学	6	6,100	8
21	公	大阪市立大学	6	6,000	2
21	国	電気通信大学	6	5,900	4
21	国	総合研究大学院大学	6	5,700	3
25	国	北陸先端科学技術大学院大学	5	5,200	7
25	公	首都大学東京	5	5,100	3
25	国	東京農工大学	5	5,000	4
25	私	立命館大学	5	4,700	7
25	国	広島大学	5	4,500	4
30	他	放射線医学総合研究所	4	4,100	4
30	国	横浜国立大学	4	3,900	1
30	国	琉球大学	4	3,900	2
30	公	大阪府立大学	4	3,800	3
30	私	東京理科大学	4	3,700	1
30	他	生理学研究所	4	3,700	5
30	国	金沢大学	4	3,600	4
30	公	熊本県立大学	4	3,500	2
30	国	鹿児島大学	4	3,300	0
30	他	国立情報学研究所	4	3,000	5
30	他	物質・材料研究機構	4	2,600	3
41	私	東京女子医科大学	3	4,500	3
41	他	国立極地研究所	3	3,400	2
41	国	東京芸術大学	3	2,900	0
41	国	一橋大学	3	2,900	3
41	国	新潟大学	3	2,900	1
41	国	群馬大学	3	2,700	3
41	国	長岡技術科学大学	3	2,700	2
41	国	鳥取大学	3	2,700	5
41	私	上智大学	3	2,700	2
合計			951	890,400	843

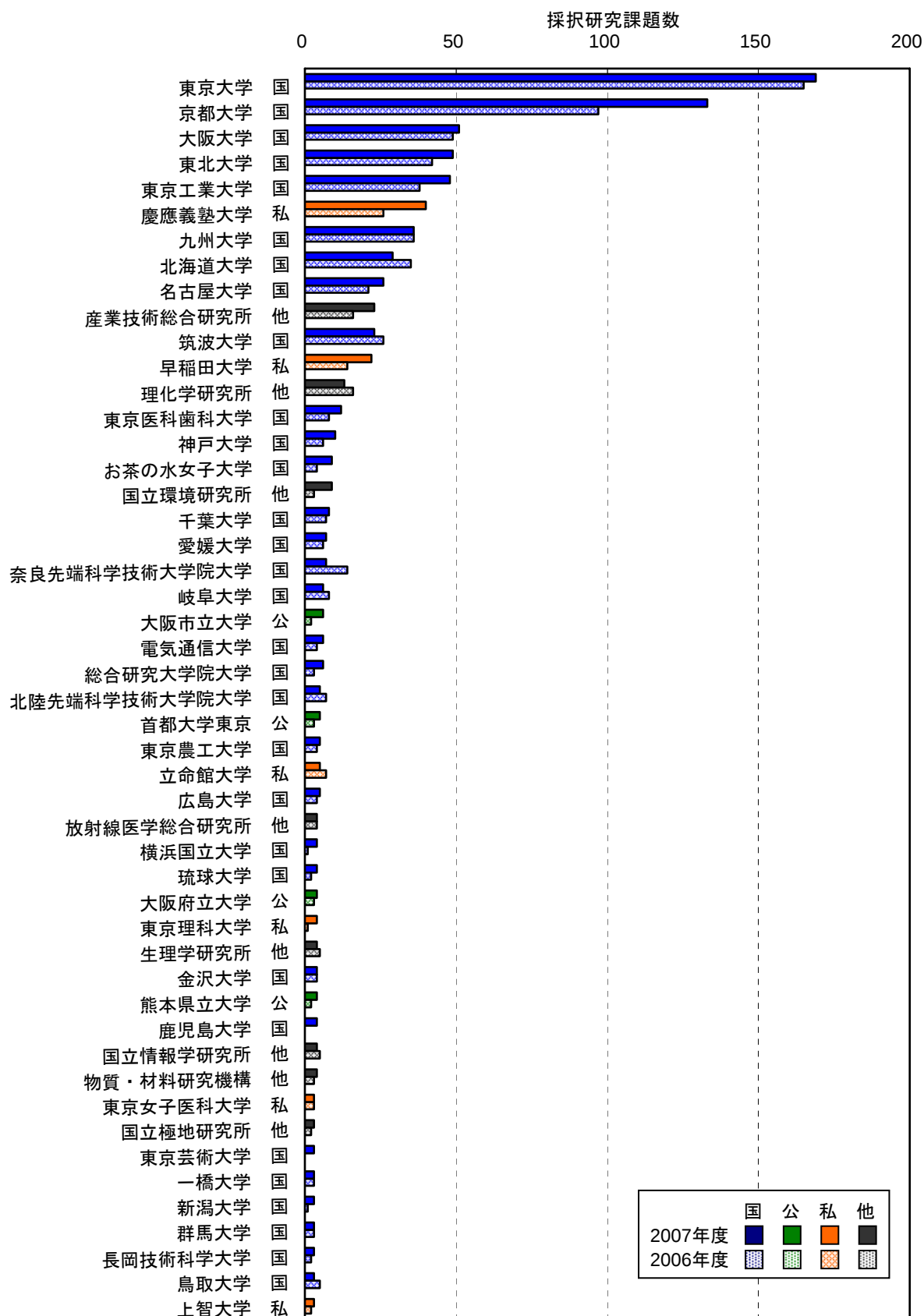


図 2 - 8 総合・新領域系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

表 2-13 総合・新領域系「分野」別採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

金額単位/千円

総合領域					複合新領域				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	108	99,100	1	国	京都大学	63	56,200
2	国	京都大学	70	63,900	2	国	東京大学	61	56,000
3	国	大阪大学	35	32,700	3	国	東北大学	26	25,000
3	私	慶應義塾大学	35	32,300	4	国	大阪大学	16	13,900
3	国	東京工業大学	35	31,600	5	国	北海道大学	14	12,700
6	国	九州大学	25	22,200	6	国	東京工業大学	13	12,500
7	国	東北大学	23	21,600	7	国	名古屋大学	12	13,200
8	国	筑波大学	17	15,800	7	他	産業技術総合研究所	12	11,600
9	国	北海道大学	15	15,000	9	国	九州大学	11	10,000
10	国	名古屋大学	14	13,800	10	私	早稲田大学	9	8,900
11	私	早稲田大学	13	12,200	10	他	国立環境研究所	9	7,500
12	他	産業技術総合研究所	11	10,800	12	国	愛媛大学	7	7,300
12	国	東京医科歯科大学	11	10,200	12	国	お茶の水女子大学	7	6,200
14	他	理化学研究所	10	11,300	14	国	岐阜大学	6	6,100
15	国	神戸大学	9	9,800	14	国	筑波大学	6	5,300
16	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	6,300	16	国	千葉大学	5	4,500
17	国	北陸先端科学技術大学院大学	4	4,300	16	私	慶應義塾大学	5	4,300
17	国	電気通信大学	4	3,900	18	私	立命館大学	4	3,800
17	他	生理学研究所	4	3,700	18	国	総合研究大学院大学	4	3,600
17	他	国立情報学研究所	4	3,000	18	国	広島大学	4	3,600
21	国	千葉大学	3	3,200	18	公	熊本県立大学	4	3,500
21	公	大阪市立大学	3	3,200	18	他	物質・材料研究機構	4	2,600
21	国	東京農工大学	3	2,900	23	他	国立極地研究所	3	3,400
21	国	東京芸術大学	3	2,900	23	国	一橋大学	3	2,900
21	公	首都大学東京	3	2,900	23	国	琉球大学	3	2,800
21	国	金沢大学	3	2,700	23	公	大阪市立大学	3	2,800
21	国	鳥取大学	3	2,700	23	他	理化学研究所	3	2,700
21	公	大阪府立大学	3	2,700	28	公	首都大学東京	2	2,200
21	私	東京理科大学	3	2,700	28	国	東京農工大学	2	2,100
30	国	岡山大学	2	2,300	28	国	横浜国立大学	2	2,100
30	他	国立成育医療センター	2	2,300	28	国	電気通信大学	2	2,000
30	他	国立循環器病センター	2	2,300	28	国	新潟大学	2	2,000
30	他	統計数理研究所	2	2,200	28	他	放射線医学総合研究所	2	1,900
30	他	放射線医学総合研究所	2	2,200	28	国	長岡技術科学大学	2	1,800
30	国	総合研究大学院大学	2	2,100	28	公	福井県立大学	2	1,800
30	国	九州工業大学	2	2,100	28	公	兵庫県立大学	2	1,800
30	私	東京女子医科大学	2	2,100	28	私	上智大学	2	1,800
30	国	豊橋技術科学大学	2	2,000	28	国	鹿児島大学	2	1,500
30	公	公立はこだて未来大学	2	2,000	28	私	明治学院大学	2	600
30	私	東京電機大学	2	1,900					
30	国	群馬大学	2	1,800					
30	国	お茶の水女子大学	2	1,800					
30	国	横浜国立大学	2	1,800					
30	国	鹿児島大学	2	1,800					
30	公	名古屋市立大学	2	1,800					
30	私	青山学院大学	2	1,800					
30	私	同志社大学	2	1,800					
30	国	名古屋工業大学	2	1,600					
30	他	国際電気通信基礎技術研究所	2	1,600					
30	公	横浜国立大学	2	1,300					
30	私	京都産業大学	2	1,000					
		合計	571	537,300			合計	380	353,100